

平成 18 年度犬の登録及び狂犬病予防注射（第 2 回）日程表

犬の登録及び狂犬病予防注射（第 2 回）を下記日程のとおり実施しますのでお知らせいたします。

月日	地区	会場	時間	月日	地区	会場	時間
6月27日 (火)	馬頭	山村開発センター前	9:00 ~ 9:10	6月29日 (木)	小川	小川健康管理センター	9:00 ~ 9:35
	和見	和見集会所	9:20 ~ 9:30		芳井	上芳井公民館	9:50 ~ 10:20
	小砂	JAなす南小砂支所	9:40 ~ 9:50		浄法寺	浄法寺地区集落センター	10:30 ~ 10:50
		馬頭西小学校入口	10:00 ~ 10:10		三輪	三輪多目的集会所	11:00 ~ 11:20
	小口	小口集会所	10:20 ~ 10:30		谷田	谷田公民館	11:30 ~ 11:50
	北向田	北向田公民館	10:40 ~ 10:50		・登録料：3,000 円 ・予防注射料：3,300 円 ●生後 91 日以上は全て登録が義務付けられています。 （登録は一生に 1 度です） ●狂犬病予防注射は毎年 1 回必ず受けてください。 ●登録犬の死亡・登録事項変更の場合は届け出てください。 ●他人の犬・人に噛つく犬は、口輪を付けてください。 ●時間が多少ずれることがあります。		
	久那瀬	久那瀬集会所	11:00 ~ 11:10				
	松野	JA なす南武茂支所	11:15 ~ 11:25				
富山	富山集会所	11:35 ~ 11:45					
6月28日 (水)	馬頭	馬頭健康管理センター	9:00 ~ 9:10	問い合わせ：住民生活課生活環境係 ☎ 0287-92-1112			
	矢又	協郷入口バス停脇	9:25 ~ 9:35				
	健武	消防馬頭分署前	9:55 ~ 10:05				
		大鳥公民館	10:15 ~ 10:25				
	大山田下郷	御前岩駐車場	10:35 ~ 10:45				
		町公民館	10:50 ~ 11:00				
	大山田上郷	生活改善センター	11:10 ~ 11:20				
	盛谷	地区健康増進施設	11:35 ~ 11:45				
大内	大内生活改善センター	11:50 ~ 12:00					

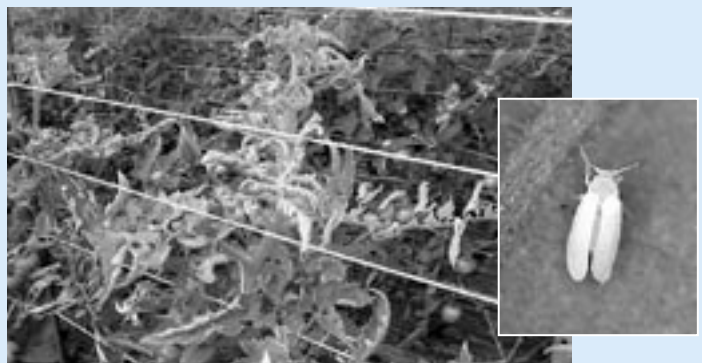


トマト黄化葉巻病の封じ込めにご協力ください

トマト黄化葉巻病は、九州・東海地方を中心にトマト農家に大きな被害を与えています。この病気はシルバーリーフコナジラミという小さな虫が媒介しますので、この虫の防除が最も重要です。

露地野菜・花きはシルバーリーフコナジラミの夏期における繁殖源となりますので、畑周辺の雑草を含めて防除をお願いします。

また、家庭菜園の発病トマトは、重要な伝染源となります。発病株はすみやかに虫ごと透明のビニール袋に入れ、日光に当てて高温にして虫を死滅させてから土に埋めてください。ご協力をよろしくお願いします。



写真上：トマト黄化葉巻病の典型的な葉巻症状
 右：シルバーリーフコナジラミ（体長 0.8mm 程度）

問い合わせ：南那須農業振興事務所
 ☎ 0287-82-2661

バイバイ



国際交流員
ベンジャミン・チャールトン

私は JET プログラムという事業で平成 16 年に旧馬頭町にやって来ました。7 月に契約が終わり、やっと懐かしい母国に帰れます。

まず、来日して日本の文化・歴史はもちろんのこと、様々な国の文化に触れる機会に恵まれたことは、ラッキーでした。

宇都宮では上座部

佛教のお寺で、来日したタイの比丘（お坊さん）^{びく}やタイからの留学生、お嫁さんたちに出会い、タイの文化についていろいろ知ることができました。栃木県国際交流協会が開催する中国語と中国文化の講座に参加したり、馬頭に近い福島空港から何回か、お隣の大陸に行って来ることもできました。そのお陰で、日本の文化に大きな影響を与えた中国のことも前よりもっと深く分かるようになりました。

さて、私が 2 年間で過ごした馬頭ではどんな経験をしたでしょう。途中、合併で「那珂川町」になりましたが、名前とのつき合いがちょっと長い分、「馬頭町」として思い出すでしょうし、「馬頭町」と書いてしまうことを理解していただけるといいのですが。

馬頭町は小さな田舎の町で、何回もこの町の人に「何もないけど…」と、謝るような声で言われましたが、そんなことはないと思います。馬頭町に派遣されてから、全く想像していなかった経験ができました。

例えば、日本の田舎へ行ってアメリカへの理解が深まる機会があるとは、なかなか思いつかないでしょう？でも同じく JET プログラムで馬頭町に赴任した ALT の米国人や、姉妹都市の米国ホースヘッズ村に訪問した際に、面白くて優しい米国人と何人も知り合えたことで、アメリカの別の面を知り、それまでなかった米国に対する友好的な感情を持つようになってきました。

また、広重美術館に展示する作品の説明書きを翻訳する仕事では、絵の内容をもっと理解したいと思ったことがきっかけで、「平家物語」「源氏物語」などの古典や歌舞伎の作品を何冊か読み、自分自身の勉強にもなりました。

学校訪問の仕事を通して、大人社会の縮図のような部分を子ども社会に発見し、どのように日本人の習慣・考え方が形づくられたのかがある程度理解できました。

つまり、いろいろな面で 2 年間の馬頭町の滞在が勉強になりました。もちろん、楽しい時ばかりではありませんでした。以前体験したことのなかった寂しさを味わいました。それは、英国から切り離された環境からくるだけでなく、何も貢献できる機会がなくて、能力を活かす機会がない状態で、自分が価値のない人間だというような気持ちからくる寂しさでもありました。しかし、そういう経験に対して、英語の諺^{ことわざ}になっているドイツ人哲学者のフリードリヒ・ニーチェ (Friedrich Nietzsche) が書いた言葉を思い出したいと思います。"That which does not kill me makes me stronger"「どんな経験も、それによって命を落とさない限り、自分を強くする糧となる」

これでお別れですが、2 年間お世話になり、ありがとうございました。

※注1 東南アジア諸国に広く伝わる佛教の系統

- 福祉基金へ
十八万五千九百十五円
栃木県軍恩連盟馬頭支部様
- 武茂小学校へ
児童用図書十五冊
小川俊夫様 (松野)
- 馬頭図書館へ
児童用図書二十冊
高野一郎様 (松野)
- 馬頭図書館へ
図書歌集「野守」一冊
佐藤和夫様 (小川)
- 小川図書館へ
図書「正義を測れ」外一冊
尾栢栄三様 (横浜市)
- 福祉振興基金へ
五万八千六百八十四円
連合栃木那須南地域協議会様
一万九百九十九円
スターライト友の会様
- 善意銀行へ
八百二十円 (匿名)
美寿々会那珂川支部様
- 善意銀行へ
八千円 (匿名) (381回)

